

長周期地震動階級演算機能付 自治体向け新型計測震度計



概要

計測震度計は、過去の最大地震でも振り切らない測定範囲±4,000galの加速度計を内蔵、地震波形記録の送信、LANによる通信回線経由で正常性確認を含めた多様な遠隔管理機能、長周期地震動の演算などを有する自治体で運用されている計測震度計の更新モデルとして最適の機種です。

また、自治体のみならず、正確に震度を計測して警報をだすことで初動対応に活用したり、重要構造物の管理を目的とした運用にも最適です。

特長

- ±4000galのサーボ型加速度計を採用、過去発生した最大地震でも振り切ることなく観測可能
- 実行分解能20ビットの高分解能ADにより、長周期地震動にも対応
- 計測震度のほか長周期地震動の演算も地震計処理器内部で実施でき、複数の送信先に配信可能
- 連続地震波形データを送信可能
- 遠隔により震度計の正常性確認ができ、故障時には状況を自動で通報

応用地震計測株式会社
 〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所7-14-37
 TEL : 048-866-1228 FAX : 048-829-9982
 Eメール : marketing@oyosi.co.jp ホームページ : <https://www.oyosi.co.jp>
 名古屋営業所
 〒465-0095
 愛知県名古屋市守山区瀬古東二丁目907
 TEL052-793-8388 FAX : 052-793-8380

計測震度計

■ 仕様 ■

●計測部

- ・方式 フォースバランス式サーボ型加速度センサー
- ・チャンネル数 水平2成分、上下1成分
- ・計測範囲 $\pm 4000 \text{ gal}$
- ・分解能 10 mgal
- ・センサー自己雑音 $2.0 \times 10^{-5} \text{ m/sec}^2 / \sqrt{\text{Hz}}$
- ・A/D分解能 24ビット
- ・実効分解能 20ビット以上
- ・サンプリング 100 Hz固定
- ・校正機能 あり
- ・インターフェース RS-422規格準拠 / Ethernet規格準拠
- ・通信手順 無手順 / UDP、TCP、FTP、NTP
- ・構造 防水構造、JIS-C-0920保護等級7
- ・接続ケーブル
RS-422規格時 CPEV-S 0.9φ 5Pで100mまで
CPEV-S 1.2φ 5Pで160mまで
CPEV-S 0.9φ 10P もしくはCPEV-S 1.2φ 7Pで300mまで
Ethernet規格時 Cat5Eで、100mまで
- ・外形寸法 幅 240 × 高さ 100 × 奥行 160mm(固定板・突起部含まず)
- ・重量 約 5kg(固定金具含まず)
- ・保護装置 避雷器内蔵

●処理部

- ・計測部通信 RS-422規格準拠 / Ethernet規格準拠
- ・データ算出 震度算出 気象庁方式
震度階級、計測震度、最大加速度・最大速度(3成分毎)
最大加速度の周期(3成分毎)、SI値、
最大加速度を含む正10秒間の卓越周波数(卓越周期)
地震検出時刻、長周期震度階級
- ・表示部 7インチ液晶タッチパネル
- ・LANインターフェース 10BASE-T, 100BASE-TX(イーサネット)
2ポート(主・副回線に対応)
- ・時刻校正 GPS(GPS受信時±1ms精度)
- ・警報接点出力 4点(無電圧c接点4回路)
- ・収録データ 震度情報および波形データ(トリガ、連続)、動作履歴
強震WIN32フォーマット準拠
- ・メモリーカード 着脱可能。1GB以上。
- ・動作電源 AC100V±10% 50/60Hz(停電補償 約2時間)
- ・寸法 幅 430 × 高さ 250 × 奥行 120mm(突起部含まず)
- ・重量 約 15kg
- ・環境条件 温度 0~40°C(通電時)、湿度 90%RH以下、結露なきこと